

35歳からの転職を成功に導く

就職活動&職場定着 の コツ学びBOOK

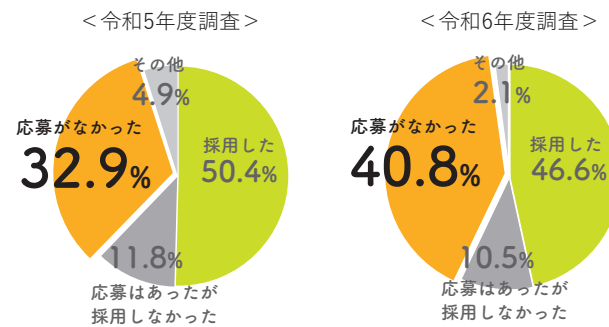
就職氷河期世代の採用 今、どうなっている？

「就職氷河期世代を採用したい企業はあるのか」「年相応の経験を求められているのでは」そんな不安から応募をあきらめてしまったケースはありませんか？県内に事業所を置く企業の経営者・採用担当者に、就職氷河期世代の採用状況や求める人材を聞いてみました。

県内企業は人手不足 「募集をしているのに応募がなかった」企業が増加！

県内企業に回答いただいた、令和6年度「就職氷河期世代の採用に関する調査」によると、半数ほどの企業が就職氷河期世代を採用しています。一方、「応募がなかった」と回答した企業は令和5年度の32.9%から令和6年度40.8%に増加しています。あなたの応募を待っている企業があるかもしれません。

Q 今年度、就職氷河期世代を採用しましたか？



「就職氷河期世代の採用に関する意識調査」
令和5年度回答企業：246社 令和6年度回答企業：243社

人手不足だけど「誰でも採用」とはいかない 企業が採否判断で重視することは？

中途採用時の採否判断で重視することのトップは「既存の社員やお客様とうまく働けるイメージを持てるか（人柄など）」。企業の68.7%が重視していると回答しています。続いて「自社への理解度が高く、働く意欲があるか」で58.4%。これまでの知識やスキルだけではなく、応募先の企業について理解を深め、働く意欲を伝えられるようにすることも大切です。

Q 中途採用・キャリア採用の採否判断時に重視することは何ですか？ ※複数選択可



令和6年度「就職氷河期世代の採用に関する意識調査」回答数：243社

就職氷河期世代 転職前後、どんなことに困った？

転職前は「この年齢で採用されるだろうか」「自分の経験は次の職場で役に立つのだろうか」とさまざまな経験してきたからこそ悩むこともあるかもしれません。そして転職後も…。転職経験のある就職氷河期世代に、どんなところが困ったか聞いてみました。

これまでの職場と“常識”も“文化”も違う？

今までの職場と常識が違うので、そこに慣れるのが難しかったです。今までできると思っていたことが通用しませんでした。

47歳／転職4回

会社の文化の違いに戸惑うことが多かったように思います。

52歳／転職1回

これまでのスキルや経験が活かせるか、新たな仕事を覚えられるか不安…

自分のスキルが、転職先で活用できるか、業務についていけるかが心配でした。

49歳／転職3回

異業種への転職で知らない単語・業界知識が多かったこと。新しい知識をインプットすることに苦労しました。

50歳／転職1回

いくら経験があっても、新しい環境に慣れるまで迷うことも…

途中で入社するため、年下の先輩がいてどう接して良いか戸惑いました。全ての人に敬語で対応しています。

47歳／転職2回

こんなこと聞いてもいいのかな？という小さいこともあるので、聞いていいのか迷いました。

46歳／転職3回

令和6年度「就職氷河期世代（在職者）アンケート」回答数：33名
※就職氷河期世代とは：概ね1993年～2004年の雇用環境が厳しい時期に学校を卒業し就職活動をおこなった世代のこと

本ガイドブックを応募する際のヒントに

令和6年度岩手労働局委託「就職氷河期世代の採用に関する意識調査」では、岩手県内に事業所を置く企業の経営者・採用担当者に「応募書類や面接のどのようなどころを見ているか」「就職氷河期世代が職場に慣れるために意識してほしいこと」などを聞きました。そのポイントを本ガイドブックに掲載しています。これから応募する際のヒントにぜひご活用ください。

応募書類・面接 編

面接は「自分が選ばれる場」だけではなく、「自分がその会社で働けそうか」を判断する場でもある

県内企業が中途採用をおこなう際に工夫していることについて、「募集時に職務内容を明確に記載する（伝える）」「育児・介護支援制度の利活用のしやすさなどを紹介している」などがあります。面接の場では、より具体的な仕事内容や働き方、将来のイメージなどについて質問をし、実際に働くイメージを持てるようにしましょう。

Piont
1

入社したい理由をはっきりと！ 使いまわしは気付かれる！？

応募のたびに志望動機を考えるのに一苦労…。でも、どこにでも同じような志望動機を伝えてしまうと、応募先企業に熱意が伝わりません。“その会社”に向け志望動機をしっかり伝えるには、事前に企業情報をできる限り調べておくことが大切です。

COMMENT

採用担当者の声

応募先企業の事業内容、力を入れている取り組みなどを調べ、“その会社”への志望動機を伝えることがポイント



県央/建設業

応募書類の志望動機が、どこの会社でも使用できる内容となっている場合があります。応募した会社のどこに魅力を感じて自分のどこがPRポイントなのかを明記していただくと採用につながりやすいと思います。



県央/専門・技術サービス業

ありきたりな志望動機ではなく、弊社情報を知ったうえでご自身の活躍したい分野を具体的に記載することや、もっと知ろう！知りたい！という意欲を表してほしいと思います。使い回しの書類だなと感じさせないような書き方をすると良いです。

Piont
3

経験やスキルを応募先企業で具体的にどう生かせるか、明確に伝える

応募先企業の仕事内容や社風などへの理解を深めたうえで、自身の経験をどのような場面でどう生かせるかを具体的に伝えましょう。具体的な場面を想定したアピールをすることで、“その会社”で働きたい意欲と意気込みが伝わります。

COMMENT

採用担当者の声

これまでの経験をポジティブにとらえ、その経験を応募先企業でどう生かせるか具体的に伝えることがポイント



県央/医療、福祉

「経験を生かして尽力したい」という発信より、これまでの経験をもとにその会社で何ができるか、具体的イメージややりたいことを伝え、お人柄や既存社員とうまくやれるかなどの判断材料になるかと思います。



県央/情報通信業

応募する企業の研究をしっかりとおこない、理解度を深めたうえで、自身の持つ経験やスキルがどう生きるのかを積極的にアピールしてください。



県央/建設業

過去をマイナスと捉えていては、面接時に消極的な姿勢となって現れます。正規・非正規にこだわらず、これまでの経験をプラスに考え、経験を積極的にアピールし、即戦力であることを伝えてください。

Piont
2

面接では“仕事に取り組む姿勢”を確認している

「努力を怠らず向上していこうという気持ちで仕事をしている」「自分なりに工夫している」「常に自分が先に動くことを意識している」「相手の気持ちを汲んだ発言を心がけている」など、自身の仕事に取り組む姿勢を伝えてみましょう。

COMMENT

採用担当者の声

“どのような仕事にどのような思いで”取り組んできたかなど、自身の仕事に取り組む姿勢を伝えることがポイント



県南/建設業

仕事に取り組む姿勢を拝見します。今までどのように仕事に取り組んできたか、今後、どのような姿勢で仕事と向き合っていくのかをアピールしてほしいです。



県南/製造業

この世代は淡々と仕事をこなす方と、仕事に対し細かな目線で向き合い、少しでも自分の仕事を良いものにしようとする方で二極化しているように感じます。後者は、はっきりと自分の意見を持っているので、会社と合うような方であればぜひ採用したいです。

熱意が伝わる

志望動機作成のポイント

1 企業・仕事内容について、多方面からの情報収集をする

応募先の企業や仕事内容について、自分なりに調べたことを伝えられると、志望意欲の高さも伝わります。求人票や企業のホームページを読み込み、以下の視点で調べておきましょう。

どのよう事業を展開しているか/力を入れているところは何か/今いる社員はどのような働き方をしているか/どんなことにやりがいを感じているかなど

調べたことから「企業」と「自分の価値観や経験」との接点を見つけることが大切です。

2 自分の経験などをもとに、入社後何が出来るかを明確に伝える

応募先の企業について情報収集した内容をもとに、なぜその業界や仕事に興味があるのか、どのように自分のスキルや経験などの強みを生かせるかを明確に伝えられるようにしましょう。

職場定着編

就職氷河期世代を「積極的に採用したい」企業は全体の17.3%でしたが、「良い人材がいれば採用したい」回答した企業は全体の72.4%にのびります。社会経験の豊かさや、苦勞を乗り越えてきたこと、若手人材とのコミュニケーションに期待する声が多数ありました。応募者の経験やスキルだけではなく、人柄も重視しているといえます。

転職経験のある 就職氷河期世代の声

職場のこんなサポートがあったが良かったと思うこと

COMMENT / 話しやすい、困ったことを共有しやすい雰囲気づくりに感謝

小さいことでもなんでも相談できる先輩を教育係としてつけてくれたのがありがたかったです。

40歳 / 転職回数3回

軽いあいさつではありましたが、これから関わりの出てくる社員を一通り回って紹介してくれたのが本当に助かりました。

47歳 / 転職回数5回以上

年の近い同僚が昼食に誘ってくれ、何に困っていたかなどが共有できたことがありがたかったです。

47歳 / 転職4回

わからないので教えてほしいということが、素直に伝えられる職場の環境に助けられたと感じています。

51歳 / 転職1回



慣れない職場で周りから声をかけてもらえるのはとてもありがたいですね。新しい職場では人間関係の構築がポイント。自分からあいさつをしたり、素直に聞いたりする姿勢を大切にしましょう。

転職経験のある 就職氷河期世代の声

職場に慣れるために自分で意識したこと

COMMENT / 意欲的に取り組み、与えられた機会があれば果敢にチャレンジ

職場に慣れるのには、周りの人との接し方が重要だと思います。何でも吸収する思いで、取り組めると自分自身を成長させられるのかと思います。

41歳 / 転職1回

QCサークルの推進事務局担当を任されたことで、社内の方と人間関係を構築し、職場に慣れることができました。与えられた機会にチャレンジすることも大切だと思います。

53歳 / 転職1回



新たな環境に慣れるために、任された仕事以外にも積極的に仕事を引き受ける意識で臨みましょう。社内の人との接点も多くなり、コミュニケーションのきっかけや人間関係の構築にもつながります。

採用担当者の声

転職先の職場に慣れるためのアドバイス

COMMENT / 「既存の社員とうまく働けるか（人柄）」は面接でもみられている

転職後は自らが仕事をしやすい職場づくりに貢献する意識で



県央 / 製造業

仕事はやる気と前向きな姿勢があれば、ある程度身につくもの。難しいのは人間関係です。待ちではなく、積極的にコミュニケーションを取り、仕事をしやすい職場づくりを自分で実践してみましょう。



県南 / 運輸業

どんな環境であれ、自身が活躍できる道があると信じて、他者を変えるよりも自身が変わることを意識すれば、定着できると思います。



県央 / 製造業

中途採用ということで年下の方に指導や指示を受けることについて、関係性を良好に保つことができると助かります。他者と上手くやれることが一番定着につながると思います。



県央 / 建設業

組織や部署内で心理的な溝をつくらないために、相互理解が重要かと思えます。相互理解を進めるためにはコミュニケーションが必要になりますが、そのひとつとして最低限の自己開示をしていくのはいかがでしょうか。自身の人となりや価値観を知ってもらうことで、会社側も職場環境づくりがしやすくなり、自身も働きやすくなるはずですよ。

早く職場に慣れるために

転職したら意識したいポイント

1 あいさつは自分から

転職したら意識して自分からあいさつをするようにしましょう。社内の人とのコミュニケーションのきっかけにもなります。当たり前のことと思うからこそ、意識したいことです。

2 素直に、謙虚な姿勢で

職場が変われば、これまでの価値観や常識も変わることもあります。わからないことはそのままにせず素直に聞く姿勢や、新たな仕事を教えてもらうという謙虚な姿勢を持ちましょう。そういった姿勢で関わることで、社内での信頼関係ができ、これまでの経験やスキルを発揮できる場面も出てくるはずですよ。

これからの就職活動に向けて

就職氷河期世代のみなさんの、就職活動をサポートする相談窓口をご紹介します。
※窓口の名称、所在地等の情報は2024年2月末現在の内容です

ハローワーク盛岡（菜園庁舎） 就職氷河期世代専門窓口

35歳以上55歳以下で正規雇用を目指す方への就職支援をおこなう専門窓口です。非正規雇用（臨時、パート、派遣など）から、安定した仕事を目指す方を対象とした相談を受付しています。

所在地 盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル2階

電話 019-908-2060

利用時間 月～金曜日 10:00～18:30（土曜・日曜・祝日・年末年始休み）



このほか県内の各ハローワークでも相談できます。
（盛岡、沼宮内、釜石、遠野、宮古、花巻、一関、水沢、北上、大船渡、二戸、久慈）
※各ハローワークの所在地、連絡先、利用時間については、岩手労働局のHPをご覧ください
<https://jsite.mhlw.go.jp/iwate-roudoukyoku/hw.html>



ジョブカフェいわて

おおむね45歳までの方を対象に、専門のキャリア・カウンセラーによる就職活動の相談を受付しています。応募書類の作成支援や、就職活動のためのセミナーも定期的におこなっています。

所在地 盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階

電話 019-621-1171 **メール相談** soudan1@jobcafe-i.jp

利用時間 月～土曜日 10:00～18:00（日曜・祝日・年末年始休み）



このほか県内各地域にもジョブカフェ、ジョブサポートデスクがあります。
※詳しくはHPをご覧ください



もりおか若者サポートステーション

15歳以上50歳未満の方の職業的自立に向けた相談支援などをおこなっています。自立相談支援機関と連携した、就職氷河期世代の就労支援のための専門窓口も開設しています。

所在地 盛岡市盛岡駅前通 16-15 保科済生堂ビル3階

電話 019-625-8460

利用時間 月～金曜日、第2・第4土曜日 10:00～17:00（最終相談受付16:00）

※第2・第4金曜日は休み、夜間開所日程等の最新情報はHPをご覧ください



あわせてCHECK！

就職氷河期世代のための情報ポータルサイト「Career Note」

- ・就職氷河期世代を応援する企業情報
- ・就職氷河期世代向けトークイベントの開催レポート
- ・就職氷河期世代の働き方を紹介する動画
- ・各種お知らせ（セミナー、イベント情報／支援情報） など

<https://www.i-careernote.com>



岩手労働局 〒020-8522 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目9番15号 盛岡第2合同庁舎
<職業安定部> TEL. 019-604-3004